

# 第37回 国際宝飾展

37th INTERNATIONAL JEWELLERY TOKYO

1月14日(水)~17日(土)の4日間、日本最大の国際宝飾展IJTが、東京ビッグサイト東展示棟で開催される。時間は10時~18時(最終日は17時まで)。主催はRXJapan(株)と一般社団法人日本ジュエリー協会(JJA)。

IJTは、新規開拓・売上拡大につながる国際宝飾展として1月の東京、5月の神戸、10月の横浜と年に3回開催される。

1月のIJTは日本最大規模の国際宝飾展で、主催するRX社の発表では620社が出展、125万点のジュエリーが一堂に集い「実際に見て、仕入れて、学べる」展示会となる。商品は多岐にわたるライトジュエリーから高級ジュエリー、ハンドメイドに必要な素材・パーツ・工具、宝飾ルース、鉱物などが出品される。

仕入や情報収集はもちろん、近年増加中のSNS販売が可能なインフルエンサーをはじめ、ハンドメイド作家、クリエイターの需要も急増中で、宝飾産業へ参入する絶好の機会の場として注目される。

来場の3大メリットには、ハイジュエリー、ライトジュエリー、プライダグジュエリー、国内ブランド、海外ブランドと幅広いカテゴリーのみならず、出展社イチオシのIJT限定商品、催事に最適な企業、多彩な素材・パーツ、二次流通品などが多岐にわたること、効率の良い会場構成などが業界の活性化に繋がる大切な展示会の在り方がある。

昨年の来場者数は4日間で20,429名(初日8,297人、2日目4,538人、3日目3,863人、最終日3,731人)。出展社数は20カ国から650社が見込まれたが、前回の619社を越えられず610社に留まった。

会場では、SNS販売などのバイヤーで盛り上がっていたようにも見えたが、来場者の質には変化が見られている。既存の小売店の来場は減り、変革期を迎えている。それでも2万人が訪れていることから、宝飾ビジネスに魅力を感じる国内の新世代などが含まれ、ライバーでもなく既存の小売店でもない新規を捉えている出展社が徐々に売上を伸ばしている傾向も見られる。

IJTから離れる企業があれば、継続企業、新規参入する企業があるように、移り変わる現状を、新規獲得の場としてRX社は提供を続けてきた。「作りたい!」が広がる一見して、仕入れて、学べる4日間」とうたう宣伝ページをIJTとは別で作っている。さらに海外への販路拡大に向け超有力海外バイヤーをRX社は特典付きで特別招待。ソーシャルバイヤーやライバー、国内の海外バイヤーが目立ち過ぎているため、宝飾ビジネスを模索する異業種や個人などが影響を潜めてはいるが、彼らは確実に力をつ

け始め、徐々に頭角を現し始めてもいるのを見れば、2026年度は新たなビジネスを提案する異業種や個人が開花することに期待が持たせている。

アジアが中心のライブ販売は、イベント会場での販売が通常よりもよく売れるということで注目され、定着し始めているようだが、実際に国内のSNS販売も売上は上昇傾向にあり、市場活性化は多角的に動き出しているのが現状と言える。地金や素材の高騰でモノづくりへの影響はあるものの、それ以上に潤っている面が多いのも否定はできず、業界としてはそろそろ攻めに転じる時期に来ている。

ダイヤモンドは長い間販売されてきたが、国内の消費者はダイヤモンドに関する知識は低いまま。そのため激しい価格競争に陥り、様々な課題にも直面している。商品の差別化においても競争の優位性を失うのが難しく、販売員とのコミュニケーションにも労力を費やし、消費者の理解不足から信頼関係の構築にも問題が生じている。

近年宝飾市場においてラボラトリー・グロウン(合成)ダイヤモンドの流通が急速に拡大していることを受け、1月14日11時~12時には、宝飾用合成ダイヤモンドの基礎的な知識を整理するとともに、最新の市場動向や技術的進展についての説明をGIA Tokyo(同) Identification(Diamond)シニアマネージャーの小竹翔子氏がGIA Tokyo合同会社主催セミナーの「ラボラトリー・グロウン(合成)ダイヤモンドの最新トレンドと鑑別のポイント」の中で解説。さらに、GIAによる新たな合成ダイヤモンド関連サービスについても紹介する。

さらに、1月15日12時~13時=日本宝飾協会主催によるセミナー「美しいインクルージョンの成り立ち」を国立科学博物館理学研究部研究主幹の門馬綱一氏が講演する。

1月16日11時~12時=日本ジュエリー協会主催セミナー「その宝石の呼び方、鑑別書と違います!」一宝石の名称を正しく理解する一をJJA宝石委員会委員/中央宝石研究所リサーチ室部長の北脇裕士氏が講演。

1月16日13時5分~14時5分=JC検定2級試験対策セミナー「販売セミナー」をJC検定1級資格者の前田妙氏が講演。

1月16日14時15分~15時5分=JC検定2級試験対策セミナー「製造・商品セミナー」をJC1級資格者の岡本有紀子氏が講演。

1月16日15時15分~16時5分=JC検定2級試験対策セミナー「素材セミナー」をJC1級資格者の星野壽江氏が講演。



小竹翔子氏



門馬綱一氏



北脇裕士氏



前田妙氏



岡本有紀子氏



星野壽江氏



## 活躍中の大橋雅廣氏。コーラルコンセルジュとして

46年間、現在も毎年通い続け、感性も養っている。

大橋氏は「イタリアに行けば行くほど、日本の珊瑚の評価が高いのを目の当たりにし、それとは反対に日本国内での日本の珊瑚の評価があまりにも蔑ろにされていることに憤りを感じていた」と話す。

そんな矢先、今から40年程前に当時の高知県知事 橋本大二郎氏のミッションにて高知県内の産業復興発展のための第3セクター「高知県商品計画機構」からの依頼が舞い込んだという。

内容は、立ち遅れていた高知県内の有力珊瑚メーカー数社のオリジナルデザイン及び制作だった。

それ迄の珊瑚メーカーは甲府や御徒町の既存の空枠に珊瑚ルースをただ乗せるだけの商品で、何のオリジナリティも持ち合わせていなかった。

そこに大橋氏が関わるようになり、各社が切磋琢磨してオリジナル商品の開発に力を入れ始めた。

そして、今日では有力ブランドと肩を並べる迄に成長を遂げている。



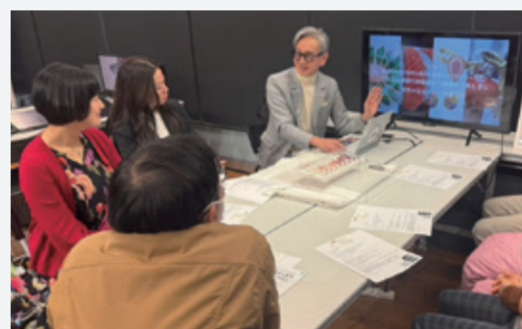
ジュエリーデザインをはじめ、ジュエリー全般に関するディレクションからコンサルティングまで行うことができる大橋雅廣氏は、ジュエリー業界に限らずファッション業界でも活躍する稀有な存在だ。

大橋氏は大学卒業後にジュエリー業界に入り、現在46年目。

25歳という若さで独立し、ジュエリーの企画制作会社の(株)トライ・アングルを設立した。様々な企業のサポートを行い、国内外の有名ブランドを数多く手掛けている。その長い歴史の中で、ディレクターとして通商産業大臣賞や全日本珊瑚漁業協同組合長賞、ユーザー賞などを獲得。ジュエリービジネスにおけるブランディング戦略、マーケティング領域の知見を活かし、経営戦略を含めた包括的な提案も可能で、期待させる効果を最大化するサービスの提供を行っている。現在はさらなるジュエリーの今をクリエイトすることを目指し、幅広く活発な活動を続けている。

独立当時は、アパレルメーカーが自社洋服ブランドの冠を付けたジュエリーが雨後の筍の様に乱立していた。国内ブランドをはじめ、イタリアやフランス、アメリカのライセンスジュエリー、いわゆる百貨店一階の婦人雑貨カテゴリーのジュエリーの企画製作(ODM)を黒子として数多く手掛ける経験を擁している。

その他、ナショナルチェーンのオリジナルジュエリーやメジャーシンガーソングライター(加藤ミリヤ)のジュエリー等もODMで多数手掛けた。これらの業務と並行してイタリアンジュエリーの輸入卸しも手掛けており、VICENZA FIERAには



インストールを含め総合プロデュースの依頼を受けた大橋氏は力を注ぎ、大盛況を博すことに成功した。

その後は、(株)マサキ珊瑚と二人三脚にて全国の時計宝石専門店での宝石珊瑚の単独展を開催し、小売店に喜ばれるだけでなく、宝石珊瑚の魅力をユーザーに伝え大いに喜ばれている。

またその傍ら、宝石珊瑚の認知度を広く浸透させるために、全国各地でワークショップやトークショーを開催して、宝石珊瑚の啓発及び普及に尽力している。興味のある方は、大橋氏にまで連絡を。なお、マサキ珊瑚がIJT2026に出展する(No.7-46)。

株)トライ・アングル 大橋雅廣  
TEL.080-3211-1864  
hiro.21.jan@gmail.com

## 天然・合成ダイヤモンド AI自動判定機

EVIDENT

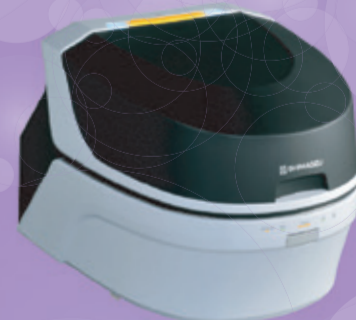
エビデント 貴金属蛍光X線分析計  
高性能・最短3秒 安心の3年保証



DIA TECH PRO  
ADVANCED ANALYTICAL INSTRUMENTS

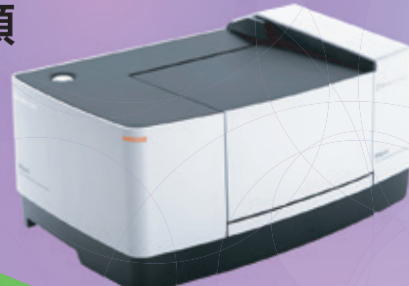
SHIMADZU

蛍光X線分析装置  
貴金属高精度分析  
色石の真贋、産地判定



赤外分光光度計

天然・合成/含侵処理/加熱・非加熱の判定  
ダイヤのタイプ別分類



# 国際宝飾展

ブースNo. 23-46

▲ アルファミラージュ株式会社

ISHIDA

電子値札  
ESLシステム

値札の貼り替え不要

